

平成 26 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 吉村治正

最終学歴	The Department of Sociology, The University of Chicago	
取得学位	Ph. D.	
所属学会	日本社会学会、行動計量学会、経済社会学会、American Sociological Association	
専門分野	社会学、社会学方法論、社会調査論、職業社会学	
研究課題	中規模に適正化された社会調査データの収集と分析、労働市場形成過程の分析	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・社会調査実習 ・社会調査特殊講義(十) ・量的分析法 ・演習 I ~ IV ・ ・
	大学院修士課程 担当科目 (博士前期課程含)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
	大学院博士後期課程 担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・社会学基礎 ・ ・
【研究上の特記事項】	<p>①24～26年度科研費基盤研究 (C) 24530788 『社会情動的選択性から見た高齢者のソーシャルネットワークに関する研究』分担研究者 (代表: 秋田県立大学渡部諭先生)</p> <p>②26～28年度科研費基盤研究 (C) 26330346 『郵送調査とWeb調査のハイブリッド調査から完全Web調査への移行に関する調査』分担研究者 (代表: 青森大学小久保温先生)</p>	
【教育上の特記事項】	社会調査協会「2014年度社会調査実習G科目助成金」採択 (助成金総額190,000円)	
【社会的活動】	第6回奈良大学公開講座「夏の夜話2014: 現代社会における企業・労働・家族」講演、題目『働けど働けど…拭えぬ不安を抱えて』、7月18日、於奈良市中部公民館	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	全学教務委員、キャリア教育委員、カリキュラム改革実行委員、社会調査協会連絡責任者	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) ① ② ③ ④ ⑤				
(学術論文) ①「肯定的項目と否定的項目が社会調査データの分析に及ぼす影響：古典的テスト理論を用いた分析」 ② ③ ④	共著	2014年9月30日	『青森大学附属総合研究所紀要』, 16(1)	共著者：澁谷泰秀・渡部諭・小久保温
(学会発表) ① ② ③ ④ ⑤				
(その他) ①『平成26年度青森県自殺防止対策取り組み検証事業報告書』 ② ③ ④ ⑤	共著	2015年3月	青森県自殺対策検証研究会	青森県庁委託研究事業報告（非売品）